



## 2019年7月 マンスリー レポート

集計企業数 55 社

## ①売上高・前年同月比

	全店			既存店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	57,996,651 万円	100.0%	97.3% (101.7%)	55,121,711 万円	95.6% (100.1%)
食 料 品	49,511,648 万円	85.4% (85.4%)	97.2% (101.7%)	47,313,230 万円	95.7% (100.1%)
農 産	7,044,067 万円	12.1% (12.6%)	96.3% (102.1%)	6,805,418 万円	94.7% (100.4%)
水 産	4,681,675 万円	8.1% (7.7%)	98.8% (102.8%)	4,518,524 万円	97.0% (100.9%)
畜 産	6,046,705 万円	10.4% (10.7%)	99.4% (102.1%)	5,822,277 万円	97.5% (100.0%)
惣 菜	5,983,382 万円	10.3% (10.0%)	100.1% (102.8%)	5,758,344 万円	98.2% (100.8%)
日配食品	11,254,994 万円	19.4% (19.5%)	96.2% (101.8%)	10,374,991 万円	94.8% (100.3%)
加工食品	14,500,824 万円	25.0% (24.9%)	96.0% (100.5%)	14,033,676 万円	94.8% (99.4%)
生活関連	3,588,395 万円	6.2% (6.1%)	97.6% (100.8%)	3,438,880 万円	95.8% (99.0%)
衣 料 品	1,597,010 万円	2.8% (3.0%)	90.7% (98.6%)	1,471,049 万円	88.9% (98.1%)
そ の 他	3,299,598 万円	5.7% (5.5%)	100.7% (104.1%)	2,898,552 万円	96.4% (101.5%)

## ② 数 値

全店総売上高	57,996,651 万円	店舗数	4,878 店舗
総売場面積	9,753,085.5 m <sup>2</sup>	総従業員数	260,707 人

店舗平均月商	11,889.4 万円	平均客単価 (前年同月比)	1,881.8円 (100.2%)
月間m <sup>2</sup> 売上(前月)	5.9 万円 (5.9万円)	平均店舗面積	1,999.4 m <sup>2</sup>
月間坪売上(前月)	19.7 万円 (19.5万円)	パート比率(前月)	77.2% (76.0%)

注) 総従業員数・・・パート・アルバイト数は、8時間換算しています

## 《 全体概況 》

- ・ 7月の天候は、一部地域を除き、梅雨前線の影響により雨の日が多く、降水量は東・西日本太平洋側でかなり多かった。気温については東日本と西日本で低くなった。梅雨明けは、西日本と北陸が7月24日頃で前年より2週間ほど遅く、関東と甲信は7月29日頃で前年より1ヶ月ほど遅くなった
- ・ 生鮮品の相場状況について、青果物では野菜が前年より相場安で、果実はやや相場安であった。水産物の市場への総入荷量は前月よりやや減少したが、卸売価格では「いわし」や「するめいか」が相場安であったことから、全体では前月並みであった。畜産物では、豚肉と鶏むね肉が相場安であった
- ・ 前年同月と比較して日曜日が1回少なく水曜日が1回多い曜日廻りであった

## 《 商品動向 》

### ・ 農産

- ・ 気温環境の影響により「トマト」や「きゅうり」などのサラダ野菜の動きが悪く、「みょうが」や「しょうが」などの薬味野菜も不調であった
- ・ 「じゃがいも」は昨年の相場安の裏年にあたり、売上は好調であった。
- ・ 「菌茸類」は非常に好調であった
- ・ 果実においても気温環境の影響により「スイカ」の動きが非常に悪く、「もも」は長雨による日照不足の影響で不作となり不調であった
- ・ 輸入果実の「キウイフルーツ」や「バナナ」は概ね好調であった

### ・ 水産

- ・ 「切り身」が好調であったというコメントが多かった
- ・ 丸物の「あじ」は先月より相場安となり、好調であった
- ・ 「魚卵」は好調であった
- ・ 「刺身」は好不調にコメントが分かれる結果となった
- ・ 「海藻類」や「貝類」は不調であった

### ・ 畜産

- ・ 牛肉が不調とのコメントが多く、特に「焼肉用」や「ステーキ用」を中心に不調であった
- ・ 豚肉は全体として不調であったが、「冷しゃぶ用」は好不調にコメントが分かれた
- ・ 鶏肉は相場安による販促回数が増えたことにより、好調であった

### ・ 惣菜

- ・ 気温環境の影響により、「涼味麺」や「セット麺」の動きが非常に悪かった
- ・ 「米飯類」は好不調にコメントが分かれる結果となった
- ・ 「天ぷら」は概ね好調だったが、「揚げ物」は不調であった

- ・ 日配・加工食品

- ・ 気温環境の影響により、「アイス」や「麺類」、「飲料」、「ビール」等の夏物商品の動きが非常に悪かった一方、「パン」や「練物」「和菓子」は好調であった
- ・ 「洋菓子」などのデザート類が好調であったとのコメントが見受けられた
- ・ 「コーヒー」などの嗜好品や、「スープ」などのホット商材が好調であった

- ・ 「土用の丑」の取組みと動向について

- ・ 「うなぎ」は価格高騰により不調であったというコメントが多くあった一方、「うな重」などの米飯類は好調であったとのコメントが多く見受けられた
- ・ うなぎの代替として、「土曜のうし」にちなんだ、牛肉を強化した取組みが見受けられた

- ・ 「お中元ギフト」の取組みと動向について

- ・ お中元ギフト全体では、前年を下回ったとのコメントが多かった
- ・ 商品動向において、グロサリーギフトは不調であった一方、ハムギフトは好調であったとのコメントが見受けられた

以 上